

# 「災害に強く 安心して暮らせるまち」の実現を目指して



新年度

# スタート

です！

今月の特集では、3月町議会で可決された平成26年度当初予算について、その概要と主な事業をお知らせします。

本年度は、本町にとりまして昭和29年に豊坂村と町村合併をして60周年となり、「節目の年を迎え、一歩ずつ着実に前進することを目指して」をキーワードに、堅実に将来を見据えた予算編成としました。また、住民サービスの維持・向上と町政の健全性維持の両面のバランスを取り、「災害に強く、安心して暮らせるまち」の実現を目指しています。

当座、施設などの建設に重点を置く行政ではなく、身近な事業を重視し、住民の安全を最優先に、子育て支援の充実や障がい者支援など、生活に密着した事業に配慮しました。

# 方針 概要



# 平成26年度 当初予算

平成26年度

## 一般会計

予算総額

131億2,000万円

一般会計は、町が行う仕事の大部分を賄う予算で、町税や国・県からの支出金などを財源にしているもので、町民の皆さんに最も関わりの深い予算といえます。

## 特別会計

予算総額（7特別会計）

66億7,262万円

特別会計は、特定の財源で特定の事業を行うもので、土地取得特別会計・国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計・介護保険特別会計・幸田駅前土地区画整理事業特別会計・農業集落排水事業特別会計・下水道事業特別会計があります。

## 企業会計

収益的支出

7億9,704万円

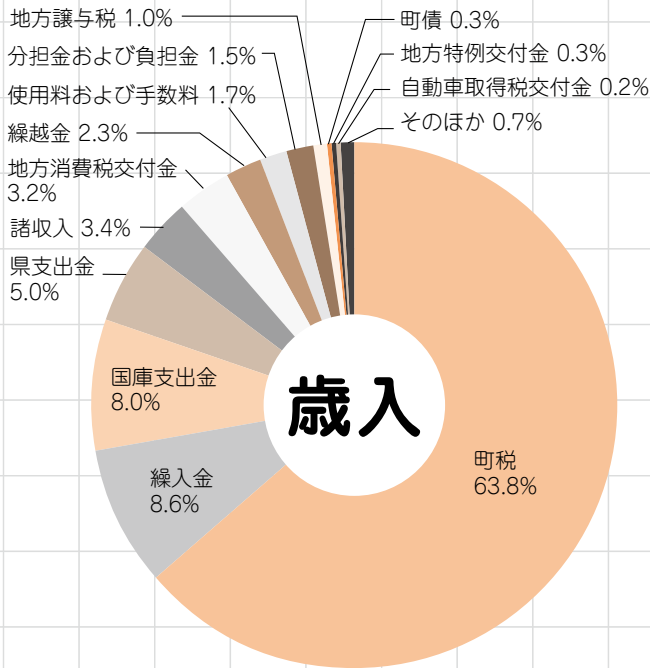
資本的支出

7億1,602万円

企業会計は、税金を使わず、一つの会社のように独立採算制で事業・経理を行うものです。本町では、水道事業会計がこれにあたります。



会計区分		平成26年度予算	平成25年度予算	伸び率(%)
一	一般会計	131億2,000万円	122億2,000万円	7.4
	土地取得特別会計	2,951万円	4,481万円	▲34.1
	国民健康保険特別会計	31億5,816万円	30億3,113万円	4.2
	後期高齢者医療特別会計	2億9,708万円	2億6,813万円	10.8
特別会計	介護保険特別会計	17億66万円	13億9,702万円	21.7
	幸田駅前土地区画整理事業特別会計	3億2,255万円	1億8,715万円	72.3
	農業集落排水事業特別会計	3億8,523万円	3億8,251万円	0.7
	下水道事業特別会計	7億7,943万円	7億91万円	11.2
水道事業会計	収益的支出	7億9,704万円	6億7,950万円	17.3
	資本的支出	7億1,602万円	3億7,531万円	90.8
	合計	213億568万円	192億8,647万円	10.5



**歳入** 最も大きな割合を占めている町税は、法人町民税や固定資産税の償却資産分の増収により前年度比 11.8% 増の 83 億 7 千万円（構成比 63.8%）と大幅な回復を見込みましたが、リーマンショック前と比較して約 10 億円減少しています。そのため、財源不足を埋めるため、基金から 11 億円の取り崩し（繰入金）を予定しています。また、借金である町債は 4 千万円に抑え、平成 25 年度末現在で 64 億円ある町債残高を 52 億に減少させ、財政の健全性の確保に努めました。

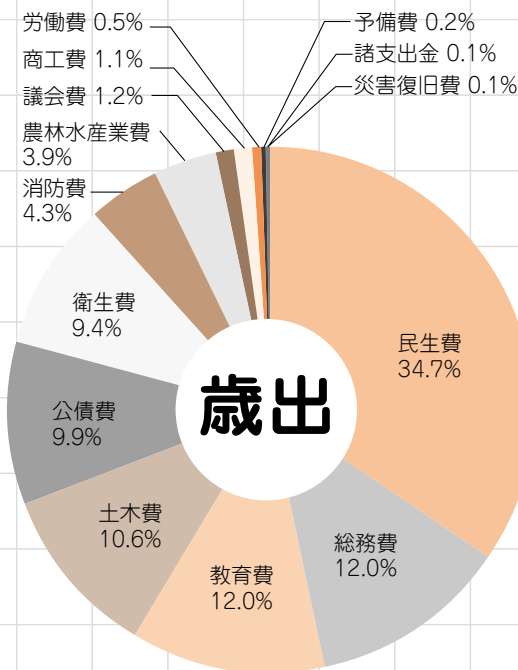
**歳出** 費目別に見ると、民生費が全体の 34.7% を占め、次いで総務費 12.0%、教育費 12.0%、となっています。民生費は臨時福祉給付金や子育て世帯臨時特例給付金などの新規計上などにより 5 億 4 千万円増（13.6% 増）、総務費ではマイナンバー制導入に向けたシステム改修などにより 1 億 6 千万円増（11.5% 増）、土木費では橋梁長寿命化修繕計画策定などにより 9 千万円増（7.1% 増）などが前年度から増加した主な理由で、全体では 9 億円増の予算額となりました。

# 歳入 歳出

## 一般会計

## 歳入歳出予算総額

131 億 2,000 万円



## 主な区分の内容

### 歳入：1年間のすべての収入

〔町税〕 町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税などの貴重な財源

〔繰入金〕 積立してある基金（貯金）の取り崩しまたは、特別会計から繰り入れるお金

〔国庫（県）支出金〕 特定の事業の財源の一部として、国（県）から支出されるお金

〔町債〕 大きな事業を行うために、国や金融機関などから借りるお金

〔地方譲与税〕 国税として徴収し、地方に譲与する地方揮発油譲与税、自動車重量譲与税

### 歳出：1年間のすべての支出

〔民生費〕 お年寄りや子ども、障がい者など福祉や医療などに使われるお金（児童手当など）

〔総務費〕 町職員給与や町の財産の管理などに使われるお金

〔教育費〕 小・中学校、ハッピーネス・ヒル・幸田の運営や生涯学習講座などに使われるお金

〔公債費〕 町債を返済するお金



▲永野ポンプ場

# 主 業 事

新は新規事業

## ①安全で快適な都市の 基盤・生活の環境づくり

### 防災・減災

- ・新地震防災マップ作成
- ・新集会所施設窓ガラス飛散防止フィルム貼り
- ・新橋梁長寿命化修繕計画策定
- ・新幸田中学校へ防災備蓄倉庫設置
- ・新全区に折り畳み式リヤカー配備
- ・新要緊急安全確認大規模建築物耐震診断費補助
- ・自主防災会育成

### 交通・防犯

- ・民間住宅耐震シェルター設置工事費補助
- ・民間木造住宅耐震診断・耐震改修支援
- ・新道路照明灯点検
- ・防犯カメラ設置
- ・コミュニティバス4路線運営
- ・電動アシスト自転車購入支援
- ・LED防犯灯設置
- ・地域安全ステーション運営

### 消防・救急

- ・新消防用水利標識看板設置
- ・新消防団詰所移転着手
- ・防火水槽・消火栓設置

### 道路・橋梁

- ・舗装補修（長嶺1号線ほか）
- ・道路整備（野場横落線ほか）
- ・全橋梁点検
- ・生活道路の舗装、側溝整備
- ・道路区画線補修

### 都市基盤

- ・幸田駅前土地区画整理事業推進
- ・土地区画整理事業（岩堀・八栗里）推進

### 下水道（公共下水・集落排水）

- ・新下水道事業の企業会計への移行準備

- ・北部処理分区、新規土地区画整理地の整備
- ・接続申請に伴う整備推進
- ・矢作川流域下水道建設負担金
- ・農業集落排水事業13地区維持管理

### 上水道

- ・永野ポンプ場更新工事
- ・ライフライン機能強化
- ・土地区画整理配水管布設

## ②環境と調和するまちづくり

### 環境

- ・太陽光発電システム、燃料電池システム、太陽熱利用システム設置支援
- ・使用済み天から油の回収
- ・生ごみ処理容器などの設置支援
- ・自然観察会・環境学習会
- ・緑のカーテンコンクール
- ・クリーンパトロール事業
- ・資源回収事業支援

### 都市公園

- ・新里前、沢渡公園バリアフリートイレ設置
- ・あいち森と緑づくり事業
- ・公園遊具・施設整備補修

## ③多様な産業が育つまちづくり

### 農村・農林業

- ・新農業講座
- ・新食育推進地産地消事業
- ・農林業活性化支援
- ・林道整備
- ・里山林など整備
- ・多面的機能支払交付金（農地・水保全管理支払いの相替・拡充）

町民1人当たりの予算の使い道(一般会計)

# 33万5,114円

(前年度金額 31万5,444円)

\* 予算額を平成26年3月1日現在の幸田町の人口3万9,151人で割って算出しました(1円未満四捨五入)

1	民生費	11万6,168円	(12.4% 増 ↗)
2	総務費	4万340円	(10.4% 増 ↗)
3	教育費	4万338円	(1.9% 減 ↘)
4	土木費	3万5,288円	(6.0% 増 ↗)
5	公債費	3万3,083円	(4.3% 増 ↗)
6	衛生費	3万1,624円	(5.9% 増 ↗)
7	消防費	1万4,408円	(5.3% 減 ↘)
8	農林水産業費	1万3,202円	(4.9% 減 ↘)
9	議会費	3,887円	(0.5% 減 ↘)
10	商工費	3,702円	(8.6% 減 ↘)
11	労働費	1,798円	(52.0% 増 ↗)
12	その他	1,276円	(1.8% 減 ↘)
	合計	33万5,114円	(6.2% 増 ↗)



▲ハート会員体操教室

- ・高年齢者、障がい者福祉・介護保険
- ・臨時福祉給付金の給付
- ・障がい者相談支援事業の充実
- ・在宅介護手当支給
- ・障がい者自立支援の推進
- ・介護予防対策の推進
- ・各種健康づくり団体育成・活動支援
- ・各種予防接種
- ・未熟児支援
- ・各種健康づくり団体育成・活動支援
- ・各種かん検診(無料クーポン事業) 推進
- ・妊婦健康診査(14回公費負担)
- ・乳幼児健康相談・各種教室
- ・こんには赤ちゃん訪問
- ・人問ドック・住民健診
- ・健康こうた21計画の推進
- ・肺炎球菌ワクチンの定期接種化対応
- ・新保健センター空調更新
- ・新水痘(水ぼうそう) および成人用

▲健診

④健康・福祉のまちづくり

●健康づくり

- ・企業立地
- ・新工業団地開発準備調査
- ・新ものづくり企業人材育成支援
- ・企業立地マスタープラン
- ・プレス・テーシシレクチャーズ(ものづくり日本講演会)
- ・企業立地の促進

▲英語あそび

●商工・観光・勤労者

- ・こつた産業まつり
- ・鳥獣害対策電気柵などの補助
- ・商工観光業活性化支援
- ・商工業経営安定対策の推進
- ・振興資金などの信用保証料補助
- ・幸田しだれ桜まつり、幸田彦左まつり

●児童福祉・保育園

- ・日常生活用具、補装具給付
- ・地域活動支援センターの空調設備改修
- ・新子育て世帯臨時特例給付金および子育て支援減税手当の給付
- ・新大草保育園駐車場拡張整備
- ・新芦谷住民広場用地購入
- ・新子ども・子育て支援事業計画策定および新システム導入
- ・全保育園で英語あそびモデル事業の拡大
- ・土曜日終日保育・休日保育
- ・子ども医療費無料化(中学校卒業まで)
- ・放課後子ども教室を編入し新体制での児童クラブ運営
- ・私立幼稚園就園奨励費・入園料補助

⑤地域文化・人づくり

●社会教育

- ・新史跡保存管理計画策定
- ・新さくら会館空調更新
- ・生涯学習講座
- ・青少年健全育成
- ・成人式
- ・こつた夏まつり、こつた風揚げまつり
- ・少年少女発明クラブ補助
- ・スポーツ教室
- ・市民スポーツ大会
- ・地区スポーツ大会支援
- ・市民大運動会
- ・新春駅伝・ファミリーシヨキング大会
- ・新坂崎小・幸田小・北部中学校の児童生徒数増加対応に着手
- ・新中央小学校大規模改造

●学校教育

- ・新坂崎小・幸田小・北部中学校の児童生徒数増加対応に着手
- ・新中央小学校大規模改造

⑥健全な行財政による  
確かなまちづくり

●国際化

- ・新荻谷小学校体育館天井耐震化計画
- ・新中学校へ通級指導嘱託教員を配置
- ・少人数・通級指導対応教育の推進
- ・学級補助嘱託教員、理科支援員配置
- ・日本語指導教員、母国語対応支援員配置
- ・外国人英語講師配置
- ・校務支援システム本格稼働
- ・奨学金制度
- ・教育相談活動の充実
- ・中学生海外派遣
- ・国際交流事業補助
- ・コミュニティ
- ・地区集会施設維持管理
- ・コミュニティ活動支援

●広報・広聴

- ・広報紙発行
- ・町政モニター
- ・ケーブルテレビ番組作成

●指定管理者制度

- ・市民会館、図書館、市民プール
- ・高齢者生きがいセンター、高齢者ふれあいプラザ
- ・道の駅「筆柿の里・幸田」

●行財政運営

- ・新電算システムの再構築
- ・新町村合併60周年記念事業
- ・新電力からの電力調達(電気料金削減)
- ・行政改革大綱に基づく事務改善の推進
- ・公債費の抑制
- ・借地解消(用地購入)

本町の行財政運営は、財源不足から貯金にあたる財政調整基金の取り崩しに頼る予算編成が継続しています。さらに貴重な収入の一つである法人町民税の一部国税化が決定しているため、今後も健全財政を維持しながら、限られた財源の選択と集中を図り、長期的展望に立った施策を推進していきます。

諸施策の実施に関しては、町民の皆さまとの対話の中からいただいた貴重なご意見を可能な限り取り入れ、「開かれた分かりやすい行政」を展開していきます。

問合せ 財政課財政G (内線353)